

中央大学書道會

題字 法学部3年 梶田碧希



書道 パフォーマンス



全6チーム67人で30分間の演技をいたしました。快晴で迎えたパフォーマンスは、多くの観客の方々からの拍手に包まれて無事終わることができました。ただ字を書くだけでなく、水墨画に挑戦したり、英語を書いてみたりすることで、また違った書道の魅力をお伝えすることができれば嬉しいです。



こんにちは、中央大学書道會です。朝夕の冷えこみが厳しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回は白門祭での書道パフォーマンスと中大書展をご紹介します。各チームの多彩な演技と多様性に富んだ作品をぜひご覧ください。



中大書展



白門祭期間中、11月2日から5日にかけて、図書館下ギャラリーにて中大書展が開催されました。個性豊かな作品が勢ぞろいし、楽しくて見応えのある書展となりました。また、779人もの方が書展に足を運んでくださり、大盛況に終わることができました。今回の書展の中から3点の作品を掲載しております。ぜひご覧ください。



◎創「凜」
文学部1年 新谷佳奈

大学に入り初めての作品です。心が引き締まる様子、というこの字の意味を力強く書いて表しました。



◎創「秋刀魚」
商学部2年 小池菜穂

秋といえば秋刀魚！ということで題材にしてみました。見ると秋刀魚が食べたいような作品になっていると嬉しいです。



◎刻「矜持」
総合政策学部3年 飯村秀一郎

今までプライドと思っていたものが、ただの見栄でしかなかったと分かった時、人として大切なことに気づけました。